

日仏財団

「マクロ経済学と経済政策：日本の経験から何を学ぶか？」プログラム
2020年度FFJ/フランス銀行フェローの募集について
応募〆切 2020年1月5日

[フランス国立社会科学高等研究院・日仏財団](#)（以下、FFJ）と[フランス銀行](#)は、奨学金フェローシップ「マクロ経済学と経済政策：日本の経験から何を学ぶか？」の募集を公表いたします。

この募集は、2015年から2019年度の5年間の本フェローシップの成功に伴い、新しく更新されたプログラムです。フェローシップのテーマは、本年度は金融政策以上に広げられ、予算政策と構造政策も含まれます。

科学的動機

1980年代中盤から現在に至るまでの日本のマクロ経済の軌跡は、日本研究の専門家に限らず国内外の多くの研究者から注目されてきました。この高い関心の背景には、日本経済展望についての誤った推測への反省のみならず、日本の事例が他のOECD主要国の教訓となりうる可能性が期待されているということがあります。

日本経済のマクロ分析は、既存のマクロ経済理論の批判的再評価を促し、その結果、経済政策とその実際の適応に関する様々な考察を導きました。この視点から、「アベノミクス」は研究者に限らず政策決定者や一般市民に至るまで大きな注目を集めていますが、実際最も重要と考えられるのは、1980年以降の日本の多様な経済政策を体系的に参照し、現代日本経済のあり方をヨーロッパ諸国との比較の視座の中に位置づけることです。

FFJ/フランス銀行フェローシップの目的は、1980年代初頭以降の日本のマクロ経済の動向および日本銀行と日本政府の経済政策を分析することです。したがって、金融政策、予算政策また構造政策、例えば労働市場、貿易や国際財政への開放の分野などに係る研究計画を奨励します。同時に、これらの政策の実践条件と、公共政策の評価、そしてこれらの分野におけるヨーロッパの経験との比較研究にも焦点がおかれます。

趣旨

FFJフェローシップの中心的な目的は、フェロー、FFJ、協力機関の三者による密接な協働を進めていくことにあります。FFJフェローシップの枠組みにより、フェローは応募時に提出したパリでの滞在に対する特別な（比較分析、フランス語文献入手などの）目的を含む研究計画に沿って、自身の研究に従事することができます。人文社会科学分野における豊富な研究者ネットワークや、パリの研究環境における国際的かつ学際的な研究環境を享受し、さらにFFJパートナーの戦略的研究部門とのコラボレーションを通して、学術界以外の専門家とのネットワークにアクセスする最高の機会を得ることができます。パリの社会科学高等研究院内の共用オフィスに迎えられ、フェローは行政事務手続きの支援、会議室や図書館も利用していただけます。

任務

フェローは他の FFJ 研究フェローまた弊財団チームとの交流精神の下、研究活動に参加することが求められる。FFJ が最も重要視する要素の一つは、他のフェローと協力し、パリや欧州における研究者との協働作業を主導できる能力である。

フェローには以下の任務が求められる。

- フェローシップ開始までに研究計画を含む研究者日記(英文 2 ページ)を提出する。
- FFJ 内部およびフランス銀行との定期ミーティングに参加する。
- フランス銀行での研究セミナーにて発表を行う (一回)。
- フェローシップ終了時にフランス国立社会科学高等研究院にてワークショップを主催する。
- フェローシップ終了時にパリでの研究成果をワーキングペーパー(英文 25~50 ページ)として提出する。

滞在と奨学金

フェローは、2020 年 9 月 1 日から 2021 年 7 月 31 日の間に、5 ヶ月から 10 ヶ月までの滞在期間を選ぶことが可能です。

フェローは、パリの生活費と移動のための固定金額を授与されると同時に、研究プロジェクトの実現に関連する一定額を授与されます。本フェローシップとは別に外部の研究資金を同時に獲得することも可能です。

応募要件

応募は、国際的に高いレベルを実践する研究者を対象とし、公的機関あるいは民間部門にすでに勤務する専門家にも開かれています。すでにそれぞれの研究分野にて経験があり、成果を上げていることが求められますが、博士号は必要条件ではありません。

申請者はフェローシップのテーマに基づいた研究プロジェクトの課題を提案することが求められます。候補者は、年齢、国籍、居住地、または所属機関の国籍に関係なく、FFJ の審査委員会によって審査されます。主な評価基準は、研究計画書の学術的な価値に加え、研究を実現するためのパリへの滞在の重要性が評価されます。審査結果は一般公開に先立ち、2020 年 3 月に応募者へ通知されます。

応募

応募書類は以下を提出すること。

- 必要事項を記入した[応募フォーム](#)
- 業績リストを含む履歴書
- 推薦状 2 通(博士号をまだ取得していない応募者、もしくは過去 5 年以内に博士号を取得した応募者に限る)

上記の書類を全て添付の上、**2020 年 1 月 5 日 24 時**(仏時間)までに、メールにて以下のアドレスに提出。

applications_ffj@ehess.fr

質問は全て同アドレスにご連絡ください。